

～ 3月20日（金・祝）三陸鉄道リアス線全線運行再開！ ～

## 「三陸鉄道カラー」車両の運行期間を

### 9月30日（水）まで延長します

叡山電鉄株式会社（本社：京都市左京区、社長：豊田秀明）では、2019年3月31日から岩手県にある三陸鉄道株式会社（本社：岩手県宮古市、社長：中村一郎）のカラーリングを施した車両（712号車）を本年3月までの予定で運行しておりますが、その運行期間を本年9月30日（水）まで延長することといたしましたのでお知らせいたします。

東日本大震災の被害を乗り越え、2019年3月23日に久慈駅～盛駅間の「リアス線」として再出発した三陸鉄道は、同年襲来した台風19号の影響により、再び一部区間の運転休止を余儀なくされました。現在、釜石駅～陸中山田駅間、普代駅～久慈駅間で運転を見合わせていますが、3月14日（土）に普代駅～久慈駅間（26.1km）の、3月20日（金・祝）には釜石駅～陸中山田駅間（28.9km）の復旧工事が終了し、全線での運行を再開される予定です。

当社では、「三陸鉄道カラー」車両の運行を延長することで、引き続き京都の地から応援していきたいと考えております。

詳細は、別紙のとおりです。



三陸鉄道36-700形車両



叡山電車712号車

以上



〔別紙〕

「三陸鉄道カラー」車両の運行

運行期間 ～2020年9月30日（水）まで（予定）

車両番号 712号車



※運転時間は日によって異なります。また、車両点検やその他の理由により運休や運行期間を変更することがありますのであらかじめご了承ください。

（参考）

三陸鉄道株式会社

岩手県を走る三陸鉄道は、日本初の第三セクター（公企業と私企業が共同で出資した企業）の鉄道で、リアス線（久慈駅～盛駅間、163km）を運行しています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、運行できない区間が多数発生するなど甚大な被害を受けましたが、2014年4月6日に当時の北リアス線、南リアス線の全線が運行を再開しました。

その後、北リアス線と南リアス線の間であって、同じく東日本大震災の被害で不通となっていたJR山田線の宮古駅～釜石駅間が三陸鉄道に移管され、2019年3月23日から久慈駅～盛駅間の運行が一体となった「三陸鉄道リアス線」として再出発しています。総営業距離163kmは、第三セクター鉄道としては日本一の営業距離です。

三陸鉄道と当社の繋がりは、2009年の「第5回えいでんまつり」で全国の鉄道をPRするコーナー「広がれ！鉄道ネットワーク」にご協力いただいたご縁から始まり、2013年より開催しているイベント「悠久の風～南部風鈴によせて～」におけるフォトコンテストなどを通じて連携を深めてまいりました。また、2018年の台風21号で当社が被害を受けた際には、三陸鉄道から社長が激励にお越しくださるなど、温かいエールを頂戴しております。

